

平成 30 年 度

南港咲洲事業計画書

社会福祉法人 遺徳会

南港咲洲特別養護老人ホーム

南港咲洲養護老人ホーム

1. 「人材（量・質）確保と育成」

- 1) 職員採用
- 2) 職員教育
- 3) 幹部職員の活動
- 4) 福利厚生

2. 「入所者の健康と安全確保」

- 1) 疾病予防
- 2) 介護事故の減少
- 3) 異常の早期発見早期治療
- 4) 防災訓練

3. 「健全財政の確立」

- 1) 稼働率
- 2) 諸経費削減（無駄の排除）
- 3) 施設間の業務統合による管理部門の効率化

4. 「快適な生活環境（ソフト&ハード）の提供」

- 1) 衛生管理の徹底
- 2) 諸行事のリフレッシュ化
- 3) 利用者・家族・施設の三者交流

5. 「社会貢献」

- 1) 地域の福祉活動参加
- 2) 居宅支援事業者・福祉施設とのネットワーク構築

1.『人材(量・質)確保と育成』

職員の採用

- ① 学校訪問をし就職担当教員とのパイプを作る。
 - ・職員の卒業学校に職員採用要項を持って訪問し人材採用の活動をする。
 - ・良い人材確保をする為に実習生の受入れを積極的に行う。
- ② 就職セミナー・採用広告等に力を入れ活動を図る。
(介護福祉士、看護師、ケアマネージャー、社会福祉士、PT、OT、ST、栄養士、管理栄養士、臨床心理士、精神保健福祉士、柔道整復師等)
- ③ 定着率向上の対策として勤続表彰、優良者(素敵な人)表彰実施。
- ④ 育児と仕事の両立ができる職場作り。(時間や休日等の調整をする。)
- ⑤ 外国人採用にむけての取り組み、昨年より受け入れに関する学校等への訪問を行い今年度から本格的に採用できるように流れを作る。

職員の教育

- ① 理事長教則により、更なる人柄の向上を目指す。
 - (1)理事長講話 (2)毎日朝礼における理事長教則学習 (3)輪読会の実施
 - (4)スキル評価票を用いたOJT (5)CL制度の活用による職員の質の向上。
 - ・毎日朝礼時に1項目を読み、今日1日どのように取り組むか、どう役に立つか等1日の目標を決める。
 - ・サブリーダー以上の職員は、自分が実践している事を朝礼の全職員のいる場で発表する。
 - ・行動指針の3項目の中より輪読会での学びや実践を職員が順番に朝礼で報告する。
 - ・終業時に「誉め日記」を書く事により、1日自分が何が出来たかを振り返り、素敵なことを書きとめる。
 - また、素敵な人を選ぶ事により、人柄の向上を図るという目標につなげる。
 - ・職員の内部・外部研修の計画を立て経験年数にあった研修の実施。
 - ・職員の技術能力評価を行い人材育成に努める。
 - ・CL制度により自らの仕事の力量を把握。成長に繋げる。

幹部職員の活動

- ① 年4回の遺徳会全体の幹部研修。
- ② 毎月1回のリーダー・サブリーダー会議。

福利厚生

- ① 永年勤続表彰・素敵な人表彰。
- ② 大阪府・府社協等外部団体への推薦。
- ③ 懇親会、誕生祝い等。
- ④ 永年勤続旅行(15年以上の勤務者)

2.『入所者の健康と安全確保』

疾病予防

1)感染症・食中毒発生ゼロ

- ① 医師を中心に情報収集と毎月委員会の開催、事前予防対策の実施。
- ② 食中毒予防月間(6月)、ノロウィルス予防月間(10月)、インフルエンザ予防月間(11月～2月)を定め、全職員の意識向上と予防対策の徹底。
- ③ 職員には、出勤時・退勤時の手洗い・うがいの実施。(出勤時の検温測定)
- ④ 1階に手指消毒用の設備を増設し外部から来る人への手指消毒の強化。
- ⑤ 感染症発生後は緊急の委員会を開催し対応を決定する。

2) 褥瘡ゼロ

- ① 情報収集と毎月委員会の開催、職員全員に周知徹底を図る。
- ② 外部・内部研修を通じて職員の褥瘡への意識を高める。
- ③ 栄養管理の徹底。

3) 栄養価と美味しさのバランスがとれた食事の提供

- ① 給食委員会を毎月開催、利用者様の状況を把握し給食会社との連携等検討する。
- ② 嗜好調査、残食量データの分析調査から利用者の嗜好を把握し献立に反映。選択食・クッキングクラブを月に1回行う。
- ③ 年2回の給食ミーティングを実施し、委託会社との連携を図る。

介護事故の減少

1) 重大事故(自治体に届け出義務)ゼロ 事故件数の減少

- ① 安全対策委員会は毎月実態を集計、職員全員に周知徹底を図る。また関連委員会での内部研修を開催し、職員意識の向上を図る。
- ② 研修を行い介護理論・介護技術・事故が発生する仕組みを理解し事故への意識を高める。
- ③ 安全対策委員会は、事例検討会を行い職員1人1人の意見、話し合いの時間を持つ事で意識改革、予知能力の向上を図る。
- ④ 事故報告書、ヒヤリ・ハット事例の記入と周知徹底を図る。
- ⑤ リハビリタイムを設ける事で利用者様の身体機能の維持向上に努め、事故発生の確率を下げる。
- ⑥ ロボット班を立ち上げ、センサー等の見守り機器や介護場面での活用を検討する。

2) 虐待ゼロ

- ① 虐待防止委員会は毎月実態を集計、職員全員に周知徹底を図る。また関連委員会での内部研修を開催し、職員意識の向上を図る。
- ② 外部・内部研修を通じて職員の虐待への意識を高める。

3) 職員の労災事故ゼロ

- ① 不安全な動作、姿勢をとらないように各職員の介護力と体力の向上を図る。
- ② リハビリの先生による、腰痛体操の実施(毎日)。
- ③ 大きな声を出してのラジオ体操の実施。

異常の早期発見早期治療

- ① 異常を察知する能力(気づき)を高める為に内部研修を行い巡回の回数・質の向上を図る。
- ② 医師・看護師・介護職の連携の強化を図る。
- ③ 家族様への連絡の徹底を図る。

災害防止

- ① 防災訓練（3回／年）実施 ※地震津波訓練含む
公設消防との合同訓練 6・3(地震・津波) 月
- ② 防災規程等の点検、整備

3.『健全財政の確立』**稼働率**

1)特養稼働率100%

- ① 入院⇒退所に至る居室を有効活用。
- ② 長期入院者のショート利用徹底。病院との連携を図り、入退院の調整を行う。
- ③ 特養の方の外泊ベッドを利用する。

2)ショート稼働率アップ

- ① 稼働率100%を達成維持する。
- ② 居宅、地域包括支援センターとのネットワークを強化する。(交流会への参加、サービス担当者会議の参加。)
- ③ 病院の地域医療との関係を深める。
- ④ 市内の地域包括支援センターに情報、会報の配布。(対応が難しい方や虐待等緊急の対応を行う)
- ⑤ 年2回、病院、居宅に施設案内、会報を持ち定期訪問をする。
- ⑥ 行事・交流会への参加、会報の配布。地域ケア会議の参加。

3)養護稼働率100%

- ① 市・区役所との連携を取り空床が出ないように図る。
- ② 市内の地域包括支援センターとの関係を深め入所希望者の確保を図る。(対応が難しい方や虐待等緊急の対応を行う)
- ③ 年に2回、施設情報、会報等郵送する。

諸経費削減

- ① 徹底した無駄の排除(特に光熱費、水道費)。時間の無駄を排除。
- ② 3施設共有の物品は、本部で単価交渉し検討する
- ③ 物品委員会による取り組み強化。

施設間の業務統合による管理部門の効率化

- ① 人事考課を年2回・スキル評価を行い給与に反映させる。
- ② 予算会議を年2回(補正予算・収支予算)を行う。

4.快適な生活環境(ソフト&ハード)の提供**衛生管理の徹底**

1)整容

- ① 入所者の服装、ひげそり、爪切り等の清潔な身だしなみの徹底。
- ② 車いすの点検及び清掃の徹底

2)施設の清掃・美化

- ① 美化委員会を中心に清掃・美化を図りニオイのない施設を目指す。(1日3回の一斉換気)
- ② お掃除が上手でピカピカ施設を目指している人の表彰

諸行事のリフレッシュ化

- 1) 四季折々の行事や特別料理は利用者の大きな楽しみである。マンネリ化しないように職員の創意工夫が求められる。
 - ① 行事の内容が毎年同じにならない様に、行く場所を変えるなど工夫し楽しんでもらえる様にする。
 - ② レクリエーションは、各階人気のあるクラブを多く取り入れ、各階で行うクラブが異なるようにし、他の階の利用者がいろいろなクラブを選び参加して頂く。
 - ③ 行事班会議の徹底
 - ・年間スケジュールを立てて、担当階を決め早い段階での準備を行う。
 - ・行事前後には話し合いの場を持ち事前準備や反省会を行い万全にする。
 - ・各階で行事を行う事で、利用者様の身体への負担を軽減する。行事に携わる職員を固定する事でスムーズな進行をはかる。
 - ④ ご家族・ボランティア等の参加者増を図る為に連携を強化する。
 - ⑤ 地域の行事への参加を増やし、地域との関わりや利用者様の外出の機会を増やす。

平成30年度 行事計画

4月	花見	桜の開花状況による	行先:南港中央公園/デイリーカナート公園でお汁粉やコーヒーを飲みながら桜鑑賞。
5月	外食会	5月中旬～	回転寿司
6月	ソフトクリームパーティー	6月下旬	ソフトクリームを食べて頂く
7月	夏祭り	7月下旬	場所 施設駐車場 食事の屋台やゲームを用意し家族様との思い出を作ってもらえるよう雰囲気作りをする。
8月	盆踊り	8月中旬	場所:5階フロア (2部制) 中央に檜を組み、「ドンパン節」や「炭坑節」を皆で踊る。踊り子さん(ボランティア)も参加。
9月	敬老会	9/17(月)	場所:5階フロア ソーラン節など、職員による出し物や利用者様と歌を歌ったり、長寿を祝う。
10月	運動会	10月中旬	場所 5階フロア 紅白にわかれてバレーや玉入れなどで競い合う、職員対抗などの余興を入れながら体を動かし楽しんで頂く。
11月	買物ツアー	10月中旬より	スーパーへのお買い物、外出
12月	クリスマス会(ロータリー)	12月上旬	場所:5階フロア、ロータリークラブ・相愛大学のボランティアさんが歌や演奏を披露し一緒にクリスマスを楽しんで頂く。
	餅つき	12月下旬	場所:施設駐車場、利用者様にお餅付きに参加して頂く事でもうすぐお正月という雰囲気を実感して頂く。
	焼き芋	12月	1階ロビーにて焼き芋を焼き、焼きたてを食べて頂き、季節を感じて頂く。
1月	初詣	1/1～1/4	場所 施設内各フロア手作りの神社を設置し参拝して頂く。正月の音楽を流したり職員が巫女の格好をし、神社を演出する
	焼き芋	1月	1階ロビーにて焼き芋を焼き、焼きたてを食べて頂き、季節を感じて頂く。
2月	節分	2/3(土)	場所 施設内各フロアレクリエーションの時間を使い、豆に見立てたカラーボールで鬼に扮した職員に向かって、「鬼は外福は内」と元気よく叫び厄を払う。
	焼き芋	2月	1階ロビーにて焼き芋を焼き、焼きたてを食べて頂き、季節を感じて頂く。
3月	のど自慢大会	3月上旬	場所 5階フロア各階から歌に自信のある方たちが参加され自慢の1曲を披露する。

利用者・家族・施設の三者交流

- ① 行事への家族参加を呼び掛けて三者交流の場を多くする。
- ② 家族懇談会を年に2回開催する。
施設の状況、法令等の動向などの情報を提供し、施設への理解を深め信頼関係を築く。
- ③ 家族様からの意見、要望を聞き、改善する事でサービスの向上を図る。

5. 社会貢献

1) 施設の地域社会貢献

- ① 施設は地域の中での重要な社会資源であるという自覚のもと、ボランティア・慰問を積極的に受入れ、法人内の人材を社会貢献活動に参加させる。
- ② 実習生・職場体験等・地域の学校等の受入れを積極的に行う。
- ③ 地域の相談窓口になる。
- ④ 地域活動の研修・講義への職員参加。
- ⑤ 住之江区介護連携推進協議会参加。
- ⑥ 住之江区運営協議会の参加。
- ⑦ 住之江区障がい者高齢者虐待防止連絡会参加。
- ⑧ 地域ケア会議、サービス担当者会議の参加。
- ⑨ 南港地域介護事業者勉強会の開催。

2) 居宅支援事業者・福祉施設・地域医療とのネットワーク構築

- ① 施設幹部の定期的な事業所訪問。
- ② 施設の情報、ホームページ・会報の配布等。

各部門平成30年度目標

〈事務所部門〉 ・ 報告・連絡・相談を徹底し情報を共有します。 ・ 明るい挨拶で親しみのある事務所にします。	〈医務部門〉 ・ 体調不良の早期発見に努める。 ・ 介護職員と連携し排便コントロールに努める。 ・ 事務所・介護職との連携を密にします。
＊安全対策委員会 ・ 事故総数の減少。 ・ 内部研修の実施。他部署との連携を意識し、リスクの高い利用者様を観察する目を増やします。	＊感染・衛生委員会 ・ 感染症ゼロ ・ 感染症の最近の情報を集め各部署と情報共有する。 ・ 職員だけでなく家族様にも感染症の知識を広める。 ・ 職員の体調管理(メンタルヘルス)の強化。
＊美化委員会 ・ 臭いのない施設。 ・ 換気の徹底。	＊褥瘡委員会 ・ 医師、看護師との連携を密にとり、皮膚トラブル者に対して迅速な対応を行っていく。 ・ 月例会議や内部研修を行う事で職員の褥瘡に対する意識を向上させると共にポジショニングの技術向上に努める。 ・ 皮膚トラブルノートを一新し、職員間での情報共有を徹底する。
＊リハビリ委員会 ・ 介護現場での連携を密に行い生活に活かせるリハビリを実施します。 ・ 楽しく充実したリハビリタイムを行う。	＊物品委員会 ・ 備品の取り扱いを徹底し大切に使用します。 ・ パット使用量等、コスト管理を徹底します。
＊虐待防止委員会 ・ 身体拘束ゼロ。 ・ 内部研修を行い職員の意識向上を図る。	＊クラブ委員会 ・ クラブ内容を見直し、職員の技術向上を図る。 ・ 地域ボランティアや学生との交流ができるクラブ活動を考え、楽しく過ごせるように取り組んでいく。
＊食事委員会 ・ 調理の工夫を行い残食を減らす。 ・ 旬の食材を使い、四季を感じていただく。 ・ 食中毒ゼロ ・ 異物混入ゼロ	＊コンプライアンス委員会 ・ 利用者様・家族様・社会から信頼される施設を目指す。 ・ 内部研修を通じて職員の意識を高める。
＊行事委員会 ・ 利用者様、家族様が参加でき、一緒に楽しめる行事を企画します。 ・ 事前準備を万全に行います。	＊サービス向上委員会 ・ 自己サービス評価・満足度調査を通じて利用者様や家族様、職員の意見を取り入れて、更なるサービスの質の向上に努める。 ・ 第三者委員の意見を取り入れ、具体的な質の改善に努める。業務の質、職員の質を向上させる。

各部門平成30年度計画

〈事務所部門〉

- | | |
|-----|--|
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none">・ 施設の窓口として明るく笑顔での挨拶を行います。・ 連携をスムーズにする為に報告・連絡・相談を徹底します。・ 誰に対しても親しみある対応をします。 |
|-----|--|
-

〈医務部門〉

- | | |
|-----|---|
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none">・ 各階の排便コントロールに努める。・ 体調変化の早期発見に努める。 |
|-----|---|
-

〈介護部門〉

*安全対策委員会

- | | |
|-----|--|
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none">・ 事故総数の減少。・ 情報の共有を図り事故への意識を向上させる。 |
|-----|--|
-

*美化委員会

- | | |
|-----|---|
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none">・ 臭いのない施設。・ 換気の徹底。・ 日々の掃除の徹底。 |
|-----|---|
-

*リハビリ委員会

- | | |
|-----|---|
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none">・ CWやCMとの連携を密にし利用者様の生活に活かせるリハビリを実施します。・ リハビリタイムを毎月行い、利用者様のADLの維持を図る。 |
|-----|---|
-

*虐待防止委員会

- | | |
|-----|---|
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none">・ スピーチロックの勉強会を行い職員の意識を常に高める。・ 不適切なケアの改善を3ヶ月に1回目標を決め取り組む。 |
|-----|---|
-

* 食事委員会

- | | |
|-----|---|
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none">・献立を充実させ、美味しい食事を提供する事で食への楽しみを持って頂く。・食中毒 ゼロ ・異物混入 ゼロ・新メニューを増やし献立の充実を図ることで、利用者様に食事を楽しんで頂く。・イベント食を実施し旬の食材を使う事で季節感を出し、食の楽しみを感じて貰う。・食事の味付けのばらつきをなくす。 |
|-----|---|
-

* 行事委員会

- | | |
|-----|--|
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none">・利用者様、家族様が参加でき、一緒に楽しめる行事を企画します。・事前準備を万全に行います。 |
|-----|--|
-

* 感染・衛生委員会

- | | |
|-----|--|
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none">・感染症ゼロ・職員の手指衛生の徹底・感染症の新しい情報の収集・職員の体調管理(メンタルヘルス) |
|-----|--|
-

* 褥瘡委員会

- | | |
|-----|---|
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none">・ナース、ケアマネ、介護職が連携しスムーズな対応を行う。・褥瘡委員が中心となりポジショニングの技術向上に努める。 |
|-----|---|
-

* 物品委員会

- | | |
|-----|---|
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none">・備品の取り扱いを徹底し大切に使用します。・パット使用量等、コスト管理を徹底します。 |
|-----|---|
-

*クラブ委員会

- 目 標
- ・ マンネリ化しないように、新しいクラブ考え行います。
 - ・ 地域交流が引き続き出来るようクラブを行います。

*コンプライアンス委員会

- 目 標
- ・利用者様・家族様・及び社会から信頼される施設を目指す。
 - ・人権の尊重
 - ・ルールの厳守
 - ・情報の管理

*サービス向上委員会

- 目 標
- ・利用者様・家族様・職員の要望を吸い上げ改善する。
 - ・自己サービス評価・満足度調査を通じて実態の把握を行い、サービスの質を高める
-

平成30年度 内部研修 予定表

	研修項目	
4月	法令遵守・就業規則	コンプライアンス委員
	安全対策(前年度事故の統計)	安全対策委員
	口腔ケア	歯科衛生士
5月	介護保険制度	ケアマネージャー
	認知症	看護師
	アセッサー	所長代理
	口腔ケア	歯科衛生士
6月	感染症予防(食中毒)	栄養士
	人権について	コンプライアンス委員
	基礎医学(薬の効果・副作用)	看護師
	口腔ケア	歯科衛生士
7月	メンタルヘルス	所長代理
	ターミナルケア	看護師
	口腔ケア	歯科衛生士
8月	痰・吸引	看護師
	虐待防止	虐待防止委員
	サービスマナー(満足度調査)	サービス向上委員
	口腔ケア	歯科衛生士
9月	法令遵守	コンプライアンス委員
	リハビリ	機能訓練指導員
	口腔ケア	歯科衛生士
10月	感染症予防(ノロ・インフルエンザ)	感染予防委員
	虐待防止	虐待防止委員
	口腔ケア	歯科衛生士
11月	褥瘡予防	褥瘡防止委員
	サービスマナー(満足度調査)	サービス向上委員
	口腔ケア	歯科衛生士
12月	安全対策	安全対策委員
	人権について	コンプライアンス委員
	口腔ケア	歯科衛生士
1月	痰・吸引	看護師
	プライバシー保護の取り組み	コンプライアンス委員
	口腔ケア	歯科衛生士
2月	ターミナルケア	看護師
	口腔ケア	歯科衛生士
3月	口腔ケア	歯科衛生士
	褥瘡予防	褥瘡防止委員
	予備日	